

デング熱とは？

デング熱はデングウイルスによる急性の熱性感染症で、平成26年8月以後、日本では約70年ぶりに海外渡航歴のない国内での感染事例が多数確認されています。

どんな症状がでるの？

潜伏期間は2～15日（多くは3～7日）でその後、突然の高熱で発症し、頭痛、目の奥の痛み、関節痛、筋肉痛、結膜充血等を伴い、発熱は2～7日間持続します。発症3～4日後、胸、背中等から始まる発疹が出現し、手足や顔面に広がります。

デングウイルスに対する特有の治療薬、ワクチンはなく、対症療法が中心となりますが、1週間程度で回復し予後は比較的良好ですが、稀に出血症状を発症することがあり、重症化する場合があります。

ヒトからヒトへうつるの？

ウイルスに感染した患者を蚊が吸血すると、蚊の体内でウイルスが増殖し、その蚊が他者を吸血することで感染します（蚊媒介性）。ヒト→蚊→ヒトへと感染し、ヒト→ヒト感染する病気ではありません。また、感染しても発症しない場合もあります（不顕性感染）。

ヒトスジシマカの活動範囲は50～100m程度で、活動時期は5月中旬～10月下旬頃までで、越冬はしません。



写真提供：国立感染症研究所

生活上の注意、予防のポイント

- ★ ヒトスジシマカは主に日中屋外で活動します。屋外で活動する時は、肌の露出が少ない服装や、虫除けスプレーなどを使用し、蚊に刺されないようにしましょう。
- ★ 蚊が建物内に入り込まないように、ドアや窓の開け閉めを減らし、網戸や必要に応じて殺虫剤を使用しましょう。殺虫剤に記載されている注意書きを厳守してください。
- ★ 屋外に雨水が貯まる物（古タイヤ、空き缶や植木の受け皿等）を置かないようにしましょう。ボウフラが発生しないようこまめに清掃してください。

(参考)

厚生労働省「デング熱について」

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/dengue_fever.html

国立感染症研究所「デング熱とは」

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/diseases/ta/dengue.html>